



阿南市総合学術調査の報告にあたって

徳島県立図書館長 吉 成 学

このたび阿南市の総合学術調査結果がまとまり、その報告書として「阿波学会紀要第60号」を発刊するはこびとなりました。

この学術調査は、徳島県立図書館と阿波学会との共催事業となっており、その活動は本年60周年を迎える歴史を持っております。県民の関心と期待を受け、当館との共催で調査を毎年1市町村実施し、平成24年度の東みよし町「旧三加茂町」の完了によって県内旧50市町村を一巡しました。

今回から二巡目として平成25・26年の2年間、新たに阿南市からスタートすることになりました。旧那賀川町・旧羽ノ浦町を含め、阿南市全域を前回の調査を比較すると共に新たな発見をめざしつつ、各班のテーマに沿って調査しました。通年にわたる調査、平成25年度の集中調査は、8月2日の結団式から10日間、また平成26年度の集中調査は、4月27日の中間発表会から10日間を、16調査班100名前後の会員が参加して実施いたしました。この成果が阿南市の郷土環境の保全や文化財の研究、観光の振興等の活性化の一助となり、阿南市発展のために貢献できますならば、大変ありがたいことと考えています。

県立図書館におきましても、今回の調査研究内容を館内のレファレンスや郷土資料としても活用し、県民への情報提供を行い、地域資源の再開発や社会生活の向上に役立てたてて参りたいと考えております。また、これまで「阿波学会紀要」として刊行された冊子をデジタル化し、内容を検索することが可能となっておりますので、県立図書館HP「デジタルライブラリー」からアクセスし御活用ください。

今回の調査に当たりまして、格別のご理解とご尽力をいただきました岩浅嘉仁市長をはじめ阿南市文化振興課関係職員の方々、ご協力をいただきました地域の方々、また、猛暑の中、あるいは寒風の中、熱心に鋭意調査いただき、分析研究報告をいただきました石田啓祐会長をはじめ阿波学会の皆様、紙面をお借りいたしまして心より厚くお礼申し上げます、発刊に当たりましてのごあいさつとさせていただきます。